

令和6年 7月の優しさ通信



不登校 小中で最多 29万人超 2022年度

コロナ禍の生活変化影響?

*2022年度の全国の小中学校で不登校だった児童生徒は、前年度比2割増の299,048人と過去最多を更新。

*小学生が105,112人、中学生が193,936人で10年連続で増えています。

*新型コロナウイルス禍による生活習慣の変化のほか、無理をして登校することへの保護者らの意識の変化も背景に。

*文科省は「学びの多様化学校」(不登校特例校)の拡充を柱に対策を進めます。

*2024年時点で公私立35校。

*将来的に300校の設置を目指します。

(2024年6月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



SNSきっかけの犯罪 子ども1600人被害

昨年、低年齢化進む

*2023年にSNSを通じて知り合った人物から重要犯罪の被害に遭った18歳未満の子どもは225人。10年間で6倍に。

*そのうち略取誘拐や不同意性交がそれぞれ4割。

*全体では1665人の子どもがSNSに起因する犯罪に巻き込まれています。

*児童ポルノ(35.6%)で最も多く、青少年保護育成条例違反32.1%、児童買春17.4%。

*ここ数年は依然として1600~1800人前後の高水準で推移。

*2023年は小学生の被害が、過去10年間で最多の139人。

(2024年6月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



子ども、コロナ下で肥満増

休校や外出自粛 運動不足 影響か

*2020年からの3年間で、子どもの肥満の割合が男女ともに増えました。

*休校や外出自粛で運動の機会が減ったほか、新型コロナウイルス感染症の流行の長期化によるメンタルヘルス（心の健康）や親の経済状況の悪化が影響した可能性。

*肥満は、2020～2022年に男子で0.31～0.88ポイント、女子で0.20～0.36ポイント増加。

*やせは、2022年に男子で0.21ポイント、女子で0.34ポイント増えました。

（2024年6月17日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

